

98.2%

早期リハビリテーション a.脳梗塞患者への早期リハビリ実施率

測定値の定義・計算方法

Process

分子： 分母のうち、入院後早期（3日以内）に脳血管リハビリテーションを実施した患者数

分母： 18歳以上の脳梗塞の診断で入院した患者数

活動のきっかけ

脳卒中患者では、早期にリハビリテーションを開始することで、機能予後を改善し、入院期間を短縮させることがわかっている。脳卒中ガイドラインにおいても発症48時間以内の介入が条件付で推奨されている。従って、適応のある患者に対して早期にリハビリテーションが開始する体制の構築が必要であり、他病院とのベンチマークを行い、実施体制の構築に向けて取り組む必要がある。

改善活動部門

● リハビリテーション部

考察

上手くいったこと	課題と感じたこと
- 昨年度の件数は279件で、早期介入の件数は274件であった。 - 年間通して98.2%の実施率となり、目標値の90%は達成。 - 医師の診察から処方までの流れは、および早期のリハ提供体制は構築できている。	- 早期介入の体制作りはできていたが、重傷者への対応はマンパワーを要するため、人員不足はサービスの提供に直結する課題となっている。 - 部署としての人員不足を補う、フォロー体制の構築が課題となっている。 - 今後は、早期介入のアウトカムに関するモニタリングが今後の課題となっており、その指標の選定を行っている。（介入時評価と退院時評価の比較など）